

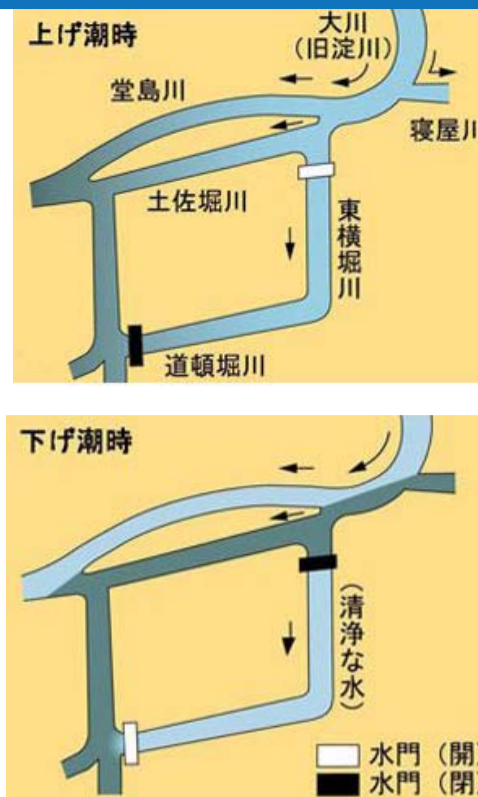
# 運河の事例（道頓堀川）

道頓堀川の“とんぼりリバーウォーク”はシーズンオフ（昨年11月19日・土）ではあるが、川の両側に設置されたウッドデッキや遊覧船は外人客が一杯で、賑わい溢れていた！

道頓堀川の水は、濁ってはいるが全く臭わない！（水質(BOD)はA～Bランク）

\*道頓堀川は、自然の川を運河にする為、堀川とほぼ同じ時期の1612年に安井道頓により開削に着手し、1615年に完成した。

その運河の名前を開削者の名を取って道頓堀と呼ばれるようになった。



旅客船1：長さ21m 幅4.4m 定員 66名

旅客船2：長さ11.5m 幅 3.4m 定員 40名

どの船もすべて満席状態！



表3. 水質測定結果

項目	測定方法	日本分析化学専門学校校の分析結果 濃度 リバープライス (四ヶ所)	道頓堀橋 (御堂筋)	日本橋 (橋筋)	総合評価	解説
BOD	今年	2.95 mg/L	2.71 mg/L	3.72 mg/L	【環境面】 【衛生面】基準なし	BODとは、水中に存在する有機物が分解される際に消費される酸素量のことであり、値が高いほど生分解性有機物が多く、一般に汚染がひどいととらわれている。
	昨年6月	1.28 mg/L	1.10 mg/L	1.27 mg/L	【環境面】 【衛生面】基準なし	全体的に、昨年より高い値を示した。
DO	今年	5.80 mg/L	4.97 mg/L	3.10 mg/L	【環境面】 【衛生面】基準なし	DOとは溶存酸素といひ、水中に溶け込んだ酸素の量を表している。つまり、この値が低いほど、酸素不足の状態に陥りやすくなる。また、溶存酸素が低いほど、悪臭の原因となる。また、溶存酸素が低いほど、悪臭の原因となる。また、溶存酸素が低いほど、悪臭の原因となる。
	昨年6月	2.51 mg/L	2.81 mg/L	2.99 mg/L	【環境面】 【衛生面】基準なし	DOとは溶存酸素といひ、水中に溶け込んだ酸素の量を表している。つまり、この値が低いほど、酸素不足の状態に陥りやすくなる。また、溶存酸素が低いほど、悪臭の原因となる。また、溶存酸素が低いほど、悪臭の原因となる。



類型	AA	A	B	C	D	E
利用目的の適応性	水道1級 <sup>※4</sup> 、自然環境保全 <sup>※5</sup> 及びA以下の欄に掲げるもの	水道2級 <sup>※4</sup> 、水産1級 <sup>※6</sup> 、水浴及びB以下の欄に掲げるもの	水道3級 <sup>※4</sup> 、水産2級 <sup>※6</sup> 及びC以下の欄に掲げるもの	水道3級 <sup>※4</sup> 、工業用水1級 <sup>※6</sup> 及びD以下の欄に掲げるもの	工業用水2級 <sup>※6</sup> 、農業用水及びEの欄に掲げるもの	工業用水3級 <sup>※6</sup> 、環境保全 <sup>※7</sup>
水素イオン濃度 <sup>※8</sup> (pH)	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	1mg/L以下	2mg/L以下	3mg/L以下	5mg/L以下	8mg/L以下	10mg/L以下
溶存酸素量 (DO)	7.5mg/L以上	7.5mg/L以上	5mg/L以上	5mg/L以上	2mg/L以上	2mg/L以上
大腸菌群数	50MPN/100mL以下	1,000MPN/100mL以下	5,000MPN/100mL以下	—	—	—
浮遊物質 (SS)	25mg/L以下	25mg/L以下	25mg/L以下	50mg/L以下	100mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと



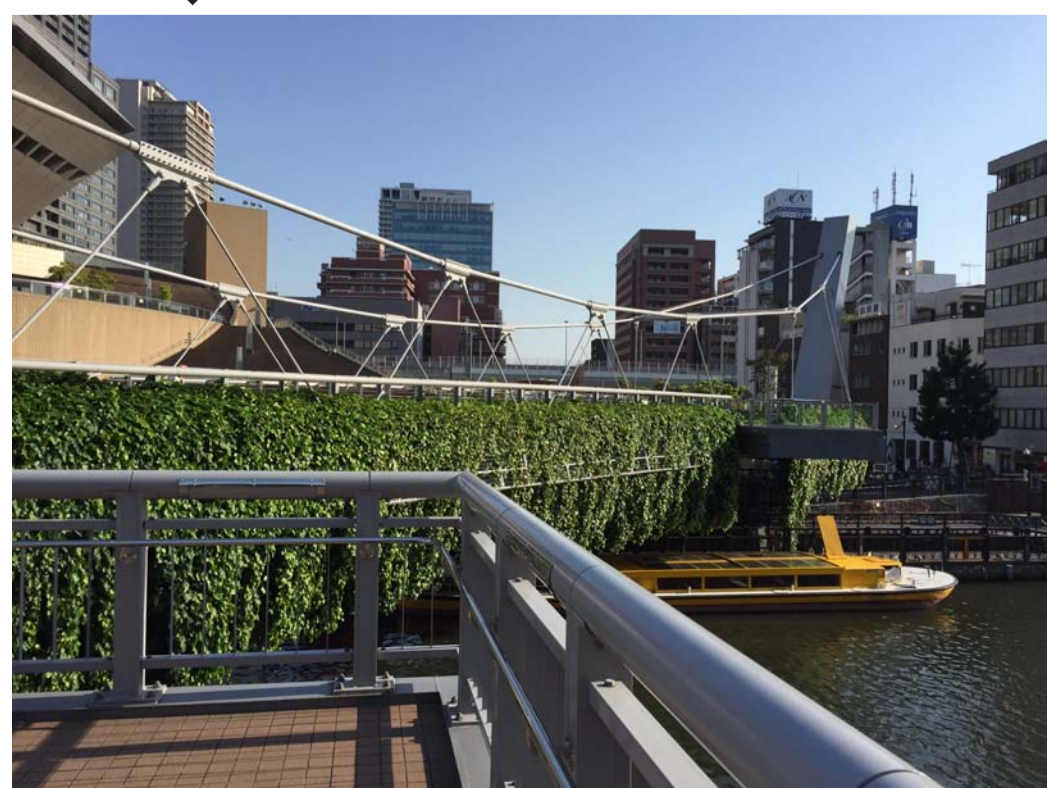
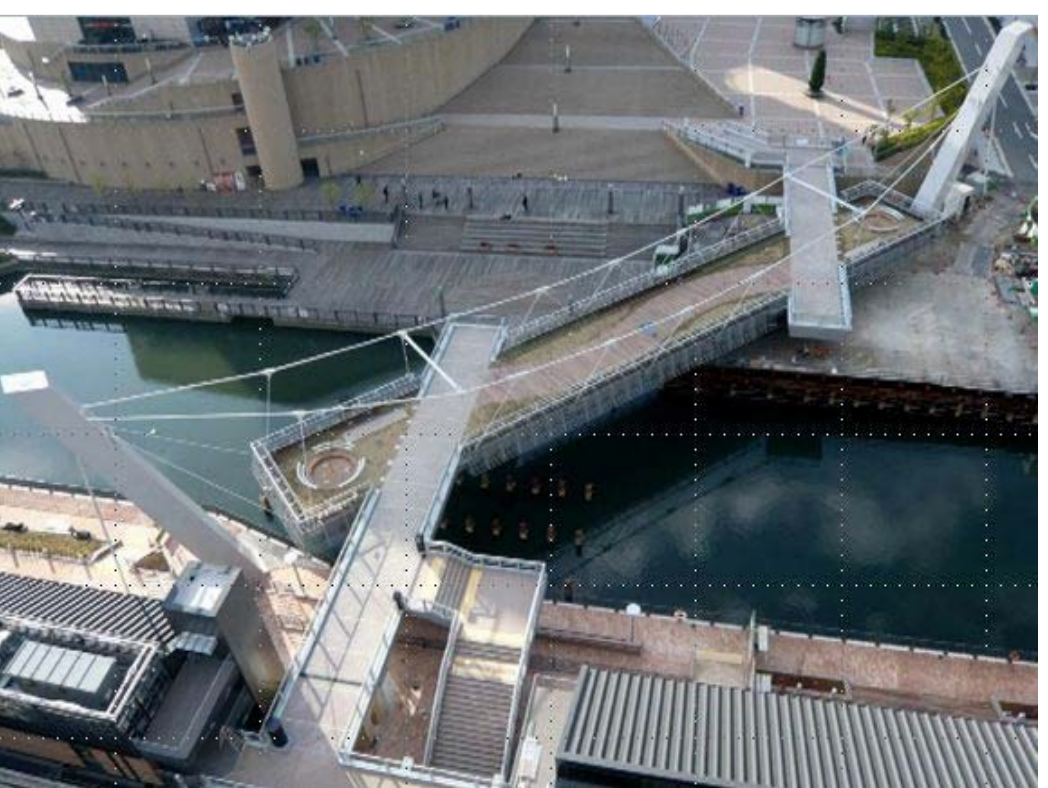
太左衛門橋（人道橋）付近も観光客で溢れていた！



人道橋：太左衛門橋と浮庭橋

◆木橋の太左衛門橋 緑豊かな、正に“浮庭”橋

道頓堀橋（御堂筋）や大黒橋下のアンダーパス



えびす橋の下は船だけでなく人も潜る